

此榮職をのぞんでの道(君)の

第五章 中學校

次に中學校の待遇はと申しますに精神的待遇に於ては教員からさへ侮蔑をうけざる様な状態であり...

最高で校長の一級俸給年俸三千八百圓、教諭の二級俸三千百圓と云ふ規定

になつて居りますが斯うした待遇をうける校長教諭は全國數へる位きりありませぬ...

小名濱の大敷漁業

小名濱町の大敷漁業は白井小名濱にも一等景氣づく小名濱町の大敷漁業は白井小名濱にも一等景氣づく...

白井側で操業準備

白井側で操業準備 悲觀の同町が大喜び 投網は本月末頃から

農工債券に現はれた

石城は矢張り長者揃 次は双葉から相馬郡

本縣農工銀行に於ける百萬本縣警察部會計課勤務巡査の農工債券募集は...

家調委員の立候補

湯本町から平 署最初の届出

来る十一日縣下一番に行はれる家屋調査委員は好まぬが相馬と云ふ願になつてゐる...

入所式

石城郡中堅農林講習會に於ける入所式は...

平地方日用品下落

一ツ十錢は高すぎざる 需川家側に不平の聲

平地方の諸物價は經濟不振で近く一つ五錢乃至七錢位の現狀に伴つて漸落して...

判妻鏡子葬送の際

香奠を賜はり御厚志の段奉深謝候 儀紙上御禮申上候

昭和五年五月六日 福島縣平町 外市原 威一郎 同郎

此榮職をのぞんでの道(君)の 昌子夫人の 歌に感奮

此榮職をのぞんでの道(君)の 昌子夫人の 歌に感奮

此榮職をのぞんでの道(君)の 昌子夫人の 歌に感奮

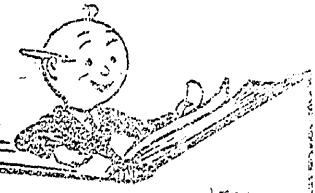
### 戯曲 彼と彼女

なぜそ、う  
させたか (五)

#### 正本生投

女中「はい、有難うござい、野村「朝雄君よせよ、行か  
ます、お蔭様で近頃大  
ぶ遠くの方からお見え  
になりましてお「ビール」で  
ももつて参りませう  
従来酒の好きな野々村の事  
だからビールときいたも  
だからすつかり當てられ  
味で、  
野村「結構だね君はなかな  
か人間を見る目がある  
よ、僕にビールを要求  
するなんてことは近來  
の上出来だよ、二三本  
持つて来たまへ、  
女中「はい、只今」退る。  
野村「おい、女中さんあ  
と「カルピス」か「ブド  
ー酒一本持つて来てよ  
女中「はい(かすかに返事)  
がきこえる五六間彼方の聲  
朝雄と幾代湯上り姿で現は  
れる、  
朝雄「失禮いたしました、  
幾子「結構なお風呂を頂戴  
いたしました、  
野村「いや、ただ朝雄  
君  
朝雄「きれいなつたね整  
いたよ、あんまりきれ  
いになつたもんだから  
幾子「鹽原とちつとも異  
いませぬわ、私も一寸水  
をのみましたけど本當  
に鹽原のお風呂と幾子  
をもつて来た」

ませぬのよ、  
野村「そうせう、僕もそ  
う思ひましたよ  
朝雄「野々村さん、貴所  
原なんかに行つたこと  
ありますか  
野村「朝雄君よせよ、行か  
ないけど僕は知つて  
んだよ  
朝雄「幾子やん、野々村さ  
んはなつかしの社家  
なんですかからね  
野村「おいよせよ、そんな  
つまらない事は幾子さ  
ん、朝雄君こそなかな  
かの社家なんですよ  
女大の辯論選手とし  
て東京の真中で英語演  
説までしたんですよ  
野村「私し朝雄さんの事よ  
く知つてましてよ、本  
當に朝雄さんは辯論家  
なんですよ、私のお父  
さんが代議士の候補者  
に立ちました時私の家  
に参つて居りました度  
々父のかほりに演説し  
て下さつたんですよ、  
野村「そう、そうする  
と幾子さんは米村さん  
のお嬢さんですね、わ  
かりませんでしたも  
んですから失禮いたし  
ました、  
幾子「父とお知合ひですの  
朝雄「知つておますとも、  
貴女のお父さんと度々  
神樂坂邊を散歩する相  
手と云ふのが野々村さ  
んなのですよ、  
幾子「本當にそうでご座  
いますの野々村さん(父  
の友人と知つて彼女はい  
くまみましたけど本當  
急に彼に對し相對的好意  
をもつて来た」



初めに読みたいお話しものには  
そりたま

平町五丁目  
電話三五三三番

季	子
冬	生
春	服
夏	靴
秋	女
洋	靴
和	靴
洋	靴
和	靴
洋	靴
和	靴

### 豆と晒あん

● 北海道のよいお豆  
● 純小豆製のよい晒あん

お電話なり下さり  
ば多少に拘らずお  
届申上げます。

田巻隆一商店  
平町紺屋町十三番・電話九〇七



よろこびますか  
うチりまますよ

### 中島寫眞館

平町宇田町

### 入荷山積

特に勉強の品々

- ナフトール友仙
- メリンダ友仙
- 春柄本場銘仙
- 英ネル新柄
- 本セール
- 正絹帯皮

### 會津桐材

自製専門  
小松はき物店

磐城平町二丁目  
電話九一〇番

### 樽詰生ビール並に

タンク入ソーダ水

平町のソーダフアンテン

コップ一杯	十五
ソジツキ一杯	十五
ソーダ水 各種	十五

ごうそ御散歩がてらに御来店を  
美味の 平町田町 三  
評判の

電話三五三番

清茶定茶  
ゆ散茶を  
かき入る

平町田町電話二〇番

### 味経味美

油醬ルマヤ

社會名合崎山  
番十話電

### 高級車

グラハムページ


たしましたい車入がンダセ型新  
すまひ願乗試御非是

貸切自動車の  
用命は 昭和  
高級車で タクシーへ  
乗心地よ 昭和  
平驛前 タクシーへ

電話 三四三番

### ライト寫眞館

平町才植小路  
電話八四七番



安價に  
迅速に  
丁寧な  
親切に

### 遠藤活版所

福島縣石城郡平町  
電話七四三番